

TOKYO 商工連

とうきょう商工連プラザ

Plaza

2021

11

vol.362

商工会は 行きます 聞きます 提案します

K.Base
Roastery Lab.



CONTENTS

②～③ 「TOKYO多摩ワーク」の実証事業スタート
多様なテレワーク施設の整備に向けて～

都商工連 企業支援課

④ 「新しい日常」の定着へ中小・小規模企業支援を 東京都予算で都商工連が要望
・人事交流

⑤ 込山都連副会長(国分寺市商工会長)が産業振興功労者賞 東京都功労者表彰
・多摩地域商工会エリアの景況(令和3年度 第2・四半期)

⑥ 「島つなぐ“フラ”」 新島村

⑦ <連載>多摩おこし・島おこし(Flex Community/狛江市商工会)

⑧ <連載>わが社の経営革新計画(ホイップ/稲城市商工会)

狛江をちょっとずつおもしろくしていく
まちづくり会社

Flex Community合同会社

しげひら みつり
代表 繁平 光伯 氏

P7に関連記事「多摩おこし・島おこし」を掲載

多摩地域にテレワーク施設を整備！

「TOKYO多摩ワーク」

実証事業をスタート

東京都商工会連合会

東京都商工会連合会は、テレワークを利用して多摩地域で働くことが可能となるような環境を整備するため、小規模サテライトオフィス「TOKYO多摩ワーク」を多摩地域に複数設置し、事業化の要件などを探る実証事業「地域振興型小規模サテライトオフィスモデル実証事業」を、東京都の補助事業として12月15日まで行ないます。東京都内の企業に勤務する方々や多摩地域の事業主の方々が利用できます。

働く側⇓通勤時間の短縮 企業側⇓通勤手当・高額賃料の削減

近年、デジタル化の進展や働き方改革への対応、さらには新型コロナウイルス感染症対策などが後押しとなり、急速にテレワークが推進されています。働く側にとっては通勤時間が短縮され自由な時間が確保できるようになり、一方、企業側では通勤手当や都心部における高額賃料等の経費削減につながるなど、双方の負担軽減になると期待されています。

しかし、多摩地域においては民間サテライトオフィスが少なく、テレワークを行うための実施場所や施設が充実していない状況にあります。

多摩地域には都心部に通勤している方が多く、昼間人口の約半数は都心部

へ流れているとされています。サテライトオフィスを活用するテレワークの導入は、従来の働き方の概念を根本から変えることになります。

地域の実情に対応した 小規模サテライトオフィスの 民営事業としての可能性を 探ることが目的

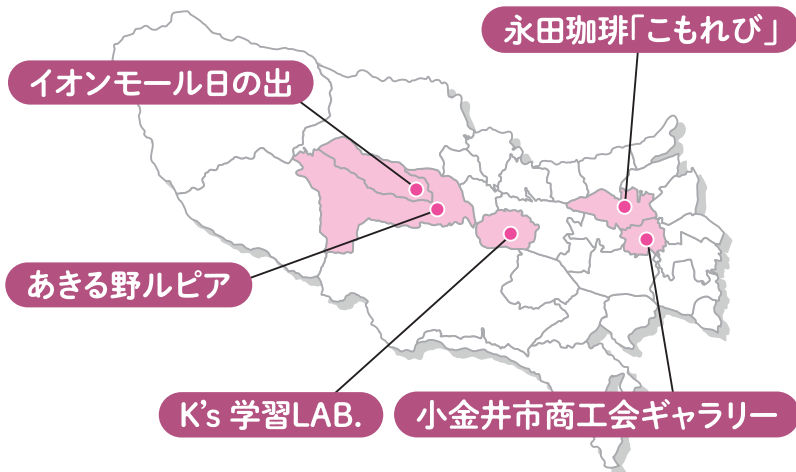
新型コロナウイルス感染症収束後においても、テレワークはニューノーマルな働き方として定着することが予想されます。テレワークの進展は、これまで都心部で過ごしていた方々にとって、自宅で働くことや通勤時間が短縮されることなどにより、地域で過ごす時間が増えることを意味します。これは多摩地域に住む人々の日常を大きく変えます。事業者の皆様にとっては、地域で過ごす時間が増えた方々を対象とした新たなビジネス展開を考えると、また地域にとっては、地域の活動などにどのような取り込んでいくかを考えることが、今後の地域振興に不可欠なものとなります。

今回の実証事業は、多摩地域における柔軟な働き方に対応する環境準備に向け、地域の実情に応じた小規模サテライトオフィスの民営事業としての可能性を探ることを目的としています。

立地条件や設備条件が違う 5タイプで実証

実証事業では、多摩地域が地域住民に最適なサテライトオフィス環境を提供するために、どのような要件が求められるかを課題に、サテライトオフィスも小規模店舗内に設置するタイプから、既存施設・大規模商業施設を活用したタイプまで揃えました。ワークスペースについてもオープン型やブース型、BOX型、ルーム型などの立地条件や設備条件、有人か無人かなど、運営方法が違う5つのタイプの施設を設置して行います。

それぞれの施設の特徴は、永田珈琲「こもれび」が個室スペースの活用、小金井市商工会ギャラリーがイベントスペースの活用、K's 学習LAB. が学習塾の空き時間の活用、あきる野ルピアがショッピングセンター内の店舗スペースの活用、イオンモール日の出が商業施設の空きスペースを活用した無人運営となっています。



K's 学習LAB.

小金井市商工会ギャラリー

イオンモール日の出

あきる野ルピア

永田珈琲「こもれび」

お問い合わせ先

東京都商工会連合会
企業支援課

電話：042-540-0131

URL: <https://tamawork.tokyo/>



永田珈琲「こもれび」



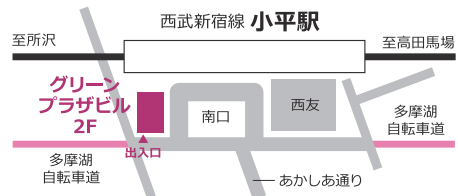
au PAY

PayPay

LINE Pay



営業時間 10:00~19:00
 定休日 土・日・祝
 住所 小平市美園町1-6-1
 グリーンプラザビル 2F
 席数 オープン型:4席
 BOX型:1席
 料金 1回/100円
 +別途ワンドリンクオーダー制

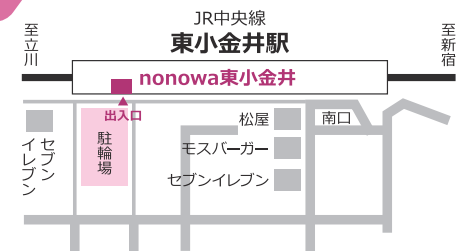


駅徒歩1分

小金井市商工会ギャラリー



営業時間 9:00~18:00
 定休日 土・日・祝
 住所 小金井市梶野町5-1-1
 nonowa東小金井
 席数 オープン型:3席
 BOX型:2席
 料金 30分/100円
 (営業時間内最大1,000円)



駅徒歩1分

K's 学習LAB.



PayPay



営業時間 9:00~17:00
 定休日 土・日・祝
 住所 昭島市玉川町1-18-10
 河辺ビル2号館3F
 席数 ブース型:5席
 料金 1回/500円

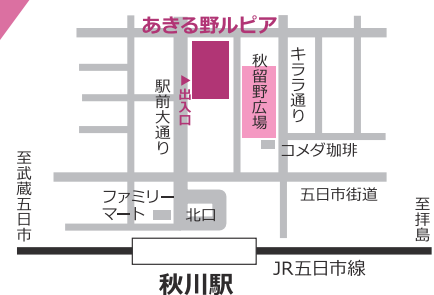


駅徒歩4分

あきる野ルピア



営業時間 9:00~17:00
 定休日 土・日・祝
 住所 あきる野市秋川1-8
 あきる野ルピア1F
 席数 オープン型:3席
 BOX型:3席
 料金 1時間/100円
 (営業時間内最大500円)



駅徒歩3分

イオンモール日の出



営業時間 10:00~19:00
 定休日 日・祝
 住所 日の出野大字平井字三吉野桜木237-3
 2F西側トイレ横(未来屋書店隣り)
 席数 ルーム型:2部屋
 料金 30分/100円



駅徒歩10分

※ご利用についてのお問い合わせはイオンモールでは対応できません。
 ※イオンモールの営業時間(日)が変更になった場合は、それに準じます。



▲令和4年度予算などで要望(都議会自由民主党の予算要望聴取会)

「新しい日常」の定着に向け、 事業者に対する強力な支援を！

都商工連 都議会各党に「令和4年度 東京都予算」などで要望

東京都商工会連合会(都商工連)は、9月2日までに、東京都議会の自由民主党、公明党、都民ファーストの会、立憲民主党を訪ね、令和4年度の東京都予算などに対し要望しました。新型コロナウイルスの感染を抑えながら「新しい日常」を定着させていくために、多摩・島嶼地域の中小・小規模事業者を強力に支援する予算を確保するよう求めました。8月31日に開かれた自民党の予算要望聴取会では、新型コロナウイルス感染拡大の長期化が、多摩・島嶼地域の経済に深刻な影響を与えており、さらに従来からの人手不足や事業承継の問題も加わり、経営の不透明感が増していると、訴えました。

都商工連が要望したのは、(1)「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模事業者の支援(2)小規模企業振興(3)観光振興(4)ものづくり振興の4つの重点項目に、(5)多摩地域要望(6)島嶼地域要望を加えた6分野18項目です(別表)。

山下真一会長は、要望聴取会の冒頭で、現在、都商工連が昭島市の「産

業サポートスクエアTAMA」と多摩市の「多摩センターペリビル」にワクチン接種センターを設けて、主に中小企業の従業員向けにワクチンの接種を行っていることに触れました。その中で、接種希望者から「予約が簡単にできた」、「建築現場で働いているが、接種ができる」と安心感がある」といった喜びの声をいただいている、と述べました。さらにテレワークが進んでいる23区内への勤務者まで対象範囲を拡大していることについても報告しました。

都議会自民党の予算要望聴取会には、山下会長と、込山雄茂副会長、奈良部義彦副会長、長谷川一也副会長、傳田純専務理事、清水晋事務局長

人事交流

【異動】

(9月1日)▽都連多摩地域人材ダイバーシティ推進ネットワーク事業担当事務局長(日野市・事務局長) 森田陽一

【採用】

(9月1日)▽日野市・事務局長 長佐藤誠一▽小平市・業務河野菜摘▽都連地域振興課・業務川浦涼大

【退職】

(9月30日)▽日野市・一般黒田由佳▽西東京・記帳武田あゆみ

(都連は東京都商工会連合会の略。地域名は商工会名。業務は業務支援員、一般は一般職員、記帳は記帳相談員の略)

長らが出席。山下会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が要望の要旨を説明しました。

東京都予算に対する要望

(1)「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模企業支援(重点)

1. 「ポスト・コロナ」を見据えた事業の継続に対する支援の強化について
2. 事業承継、創業に対する支援の強化について
3. 「ポスト・コロナ」における新たな地域活性化支援の強化について
4. 感染拡大を阻止する取組に対する支援の強化について

(2)小規模企業振興(重点)

1. 小規模企業への支援のさらなる充実について
2. 商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の強化について
3. 中小・小規模企業の働き方改革の実施に対する支援の強化について
4. 消費税の軽減税率制度に対応するための支援の強化について

(3)観光振興(重点)

1. 多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークへの支援の強化について
2. 多摩地域への観光客誘致について
3. 多摩地域から羽田空港への鉄道アクセスの強化について

(4)ものづくり振興(重点)

1. ものづくり中小・小規模企業への支援の充実について
2. 中小・小規模企業の人材確保支援事業に対する支援の継続について

(5)多摩地域要望

1. 横田飛行場の民間利用促進について
2. 多摩地域都市基盤整備等の早期実現について
3. 大規模小売店舗による地域社会への貢献について

(6)島嶼地域要望

1. 離島航空路線の便数確保及び燃料への補助制度の支援について
2. 小笠原空港の早期開設について

東京都、東京商工会議所、東京商工会連合会などが主催する「産業交流展2021」は、「リアル」と「オンライン」の両方で行われる予定です。先進的な技術やサービスを持つ中小企業が集まり、展示会を通して

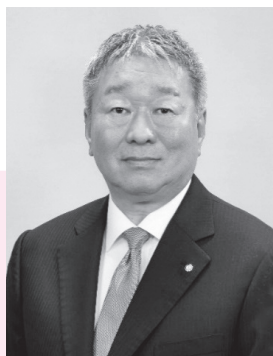
産業交流展2021

今年はリアルとオンラインの両方の予定
都商工連も独自ブースで出展

異業種を含めた交流の場を提供します。リアル展示会は東京ビッグサイト南展示棟で11月24日～26日の3日間。一方、オンライン展示会は11月17日～12月26日の期間で行われます。リアル展示会に参加すれば自動的にオンライン展示会にエントリーできる仕組みとします。約500社が出展します。都商工連もリアル展示会に独自ブース（10社）で出展する予定です。

東京都功労者表彰

込山雄茂副会長が「産業振興功労」で表彰



▲産業振興功労で表彰された込山副会長

令和3年度の東京都功労者表彰式が10月1日、都庁で行われ、(有)ベンクリエイトサービス社長の込山雄茂氏（東京都商工会連合会副会長）が「産業振興功労」で表彰されました。今年度の都功労者の表彰者は全体で298人、そのうち、産業振興功労の

表彰者は29人でした。

込山副会長は平成24年5月に国分寺市商工会会長に就き、同30年6月には都連副会長に就任しました。国分寺市に留まらず、多摩・島嶼地域全体の中小・小規模事業者の経営支援に注力するとともに、国・東京都への要望の取りまとめにも奔走するなど、献身的な働きが高く評価されました。

国分寺市商工会では、市、観光協会、JAなどと「こくベジ事業」を展開、飲食店と結んで地元野菜を取り入れた「トマトフェスタ」というキャンペーンを展開。また、令和2年8月には、コロナ禍で厳しい状況にあった飲食店の支援策として宅食などのニーズに着目、多摩地域では初の宅配デリバリーサービス「ぶんじDeli（デリ）事業」を商工会主催で行い、成功に導きました。

中小企業景況調査

多摩地域商工会エリアの景況

新型コロナ感染急増で4度目の緊急事態宣言、人や物の流れが滞る

3年度 第2・四半期 7～9月

製造業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのすべてが悪化。経営上の問題点の第1位は8期連続「需要の停滞」。

小売業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのすべてが悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「需要の停滞」。

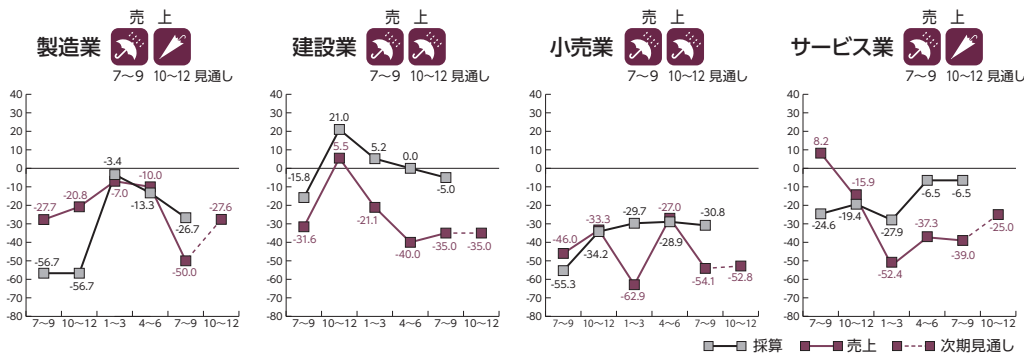
建設業

売上高前期比DIは改善。採算期中DIと資金繰りDIは悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「材料価格の上昇」。

サービス業

売上高前期比DIは悪化、採算期中DIは横ばい、資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は2期連続「需要の停滞」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

- *大手企業の設備投資が低水準で、装置の板金関係の受注が減少している。(製板金業)
- *材料価格の上昇が続き、利益の悪化につながっている。コロナの影響か、賃貸物件の移動も少ないように思われ受注減少に影響している。(木製建具工事業)
- *外出・旅行の機会が減り必要性の低い靴、おしゃれ靴の販売が激減している。(靴小売業)
- *緊急事態宣言の延長だけでなく、五輪、パリンピックの影響もあるのか外出が控えられ来客数が少なかった。(衣服裁縫修理業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。

注2. DIマーク ※:+30～ ◎:+10～+30 ◐:+10～-10 ▲:-10～-30 ▼:-30～
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

ピンチが生んだ贈りもの

東京11島

フラでつなげる未来への物語



▲子どもたちを撮影する様子。振付けを指導する植松さん(中央で手を挙げている)と、見守る藤井(左の女性)さん。

「遠く遠く離れた場所で新しい自分の居場所を探し始めていた」。伊豆諸島と小笠原諸島の、島と島、島と本土をつなぐ東海汽船が、昨年夏に2隻の新造船を就航させたことを機に、オリジナルソングを作りました。この歌にフラチームが振り付け、各島で撮影を行い一つの動画にしました。動画のタイトルは

「ことばの贈りもの」フラでつなげる東京諸島の未来」です。コロナ禍で観光イベントも控えがちになる中、曲のゆったり感とフラが絶妙にマッチ。なぜかユッタリした気持ちになります。

東京には、伊豆諸島、小笠原諸島と呼ばれる有人離島が11島あります。伊豆諸島は大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島の9島。また、青ヶ島から約644キロ南の小笠原諸島には父島・母島があります。伊豆、小笠原諸島には、島民が165人の島から7411人の島まであり、厳しい自然環境の中、逞しく生き抜いてきました。島それぞれに生活様式が異なりますが、それが独自の文化を創り出しています。

最近、これらの島々を『東京諸島』あるいは『TOKYO ISLANDS』と呼び、11島が連携して観光振興を

図ろうとする動きが出てきています。

昨年夏、東海汽船は、大型客船「さるびあ丸」と高速ジェット船「結」の新造船2隻を就航させました。「さるびあ丸」と「結」は、人と人、町と町、本土と島、そして過去と未来を「繋ぐ」船として就航しました。

東海汽船は就航を記念し、シンガーソングライターの藤井恵さんに依頼して、船内などで流すオリジナルソング「ことばの贈りもの」を制作しました。

新造船の就航で観光振興に対する機運が高まる中、やってきたのは新型コロナウイルスでした。観光シーズンを目前に、来島は自粛、イベントは中止へと状況は一変しました。

それでも、「3代目さるびあ丸」の最終航海の動画を観た藤井さんは、船内に流れた曲と、新島の栈橋で踊っていたフラの相性の良さに感動したそうです。藤井さんはその想いを

胸に昨年6月25日、初就航の3代目「さるびあ丸」で新島を訪れました。

新島ではフラチーム「ヌーキマ」代表の植松朋江さんとも初顔合わせとなりました。カフェの一角で私(西胤)を入れた3人は、互いの想いや、これからのコトを語り合い、この曲を通じて、今だからこそできる企画を練りました。振り付けはヌーキマにフラを教えている講師が作り、植松さんが練習用の動画を各島のフラチームとオンラインで共有、西胤は各島からのフラの映像データを取りまとめ、3月には完成させました。

こうして11島の皆さんと一体となった表現を発信することが叶いました。

「ことばの贈りもの」が、希望ある未来を願う人たちの心の支えとなりますように。

文 西胤輝之進(新島村商工会)

スマートフォンで読み取れば、動画にアクセスします。





狛江をちょっとずつ
おもしろくしていく
まちづくり会社です

Flex Community合同会社
しげひら みつのり
代表 繁平 光伯 氏

多摩おこし 島おこし 狛江市

この人に聞く

No.27

—HPに「狛江をちょっとずつおもしろくしていくまちづくり会社」という前置きがありますが、社名を出すときには必ず付くのですか？

いつも、そうしているわけではありません。ただ、時々「何をやっている会社」あるいは「何をやろうとしている会社ですか？」と聞かれて説明しているのですが、結局うまく理解してもらえなくて…。これを付けておくと、フワッとですが理解してもらえているようです。あくまでフワッとですが(笑)。

—合同会社という形にしたのは、どのような理由からですか？

基本的には、株式会社にする必要がなかったからです。出資を受ける予定もなかったため、「柔軟にやりたい」というのがあります。日本では認知度が低い形態ですが、アップルやアマゾンの日本法人も合同会社ですから。

—大学を卒業されてから、もう20年近くになりますが、さまざまな仕事を体験してこられたそうですね。

卒業したのは商学部です。大手生命保険会社の業務系システムを設計するエンジニアでスタートしました。仕事で経験を積む中で、仕事に対する意識が高まり、「もっと真摯に仕事に取り組みたい」と思い、3年で退社しました。その後に入ったのがいわゆるITベンチャー。Eコマース事業や会員制のコミュニティサイトの開発などをやっていました。ただ、赤字体質であったこともあり、1年で退職しました。このころから起業を意識するようになりました。

次が大手コンサルティング会社。経営ノウハウに関する知識をこれでもかというほど叩き込まれ、ビジネススキルが磨かれたと思います。そこから、起業に向け、事業会社での経験をさらに積むため、金融と情報技術を結び付けたFintech(フィンテック)系の企業を経て現在に至っています。

—そこから出てきた回答の1つが「町づくり」だったのですか？

地元の仲間といつかは一緒に仕事ができれば、という思いがありました。なかなかいい事業が見つからなかったのですが、ある人からヒントをいただき、「この仲間が育った地元のために何かやりたい」という気持ちがより強くなりました。

現在やっている自家焙煎珈琲店「K.Base Roastery Lab」は、合同会社であるFlex Communityを構成する1事業で、おもしろい町づくりを行うための“地域のコミュニティスペース”でもあります。50年の老舗の味を継承した本格焙煎珈琲を提供できます。狛江(K)に根を張った拠点(BASE)として、たくさんの人々が集まって、気軽に話ができる場所にしていこうつもりです。

K.Base Roastery Labには、大小2つの焙煎機があります。知人の実家が営んでいた老舗の焙煎卸売店が引退する際に、

技術とともに譲ってくれたものです。お客様から希望を聞いてお好みの味に焙煎します。狛江からスタートする本格的な焙煎珈琲店として、コーヒーを自分の好みにローストするという文化を地域に広げ、地域の特性として育てていければと考えています。蛇足ですが、サンドイッチもおいしいですよ(笑)。

今年2月に狛江に2号店「K.BASE COFFEE STAND」をオープンし、経堂にビールとコーヒーを提供する「K.BASE BREWERS」もオープンしました。

—繁平代表は、町おこしのために、どんな取り組みをされているのですか？

現在は、珈琲店やコンサルティング事業の傍ら、狛江フェスティバル、狛江青年会議所、狛江市商工会青年部、野川まちづくり協議会などの組織で活動しています。狛江フェスティバルは花火大会と並ぶ狛江の夏の大イベントです。

狛江青年会議所は一昨年に卒業し、今は顧問です。「狛江みらい会議2030」、「次亜塩素酸水配布事業」、「狛江KIDS弁当事業」などを行いました。また「狛江の史跡と自然と触れ合う会」にも関わっています。

関わりのある組織は、アプローチは異なるものの、それぞれ町おこしの仕組みを持ち、様々なプロジェクトを進めています。私自身が、色々な組織やプロジェクトに関わっているため、狛江の様々な分野の方々とのお付き合いがあります。

これからは、狛江おこしの活動をさらに進め、現在の仲間との絆もますます強化していきながら、次の世代に向けた「BASE」を作っていきたいと考えています。

コーヒー豆の選別▶



▲コーヒー豆の焙煎機(手前が小型、後方が大型焙煎機)

本社:〒201-0013
東京都狛江市元和泉1-1-13鈴木ビル201
TEL:03-6314-6800
<http://flex-community.jp/>

店舗:〒201-0012
東京都狛江市中和泉2-11-1中和泉第一マンション106
<https://kbase.jp/>



新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

経営革新計画 PART2 No.23

必要なものに絞って
効率よく自動化すれば
生産性は上がる



有限会社
ホイップ

代表取締役
多田 和正 氏
稲城市商工会員

京王相模原線の稲城駅から、左右にマンションが建ち並ぶ緩い坂道を5〜6分登ると、鮮やかな赤色に塗られた建物が目に飛び込んできます。2階部分に白くCake Factory Whip。洋菓子店ホイップの本店です。同店は、季節感やイベントに力を入れている店として知られ、地域の特産品である梨やぶどうを使った洋菓子は、稲城の地域ブランド「稲城の太鼓判」に9品も認証されています。人口に比べケーキ店が多いと言われる稲城市でも、着実に成長しているお店の一つです。

街のケーキ店からの脱皮

そんなお店が、街のケーキ屋さんという業態から脱皮し、より広い顧客層に対して安定的に商品を供給し、かつ新製品を開発する時間が就業時間内で取れるような働き方ができるようにと、自動化機械の導入など、新たな取り組みを開始しました。IT(情報技術)を用いた非対面販売にも踏み出そうとしています。

洋菓子業界を取り巻く状況も変わってきています。これまで、大手メーカ

ーしか導入できなかった自動化技術を搭載した小型食品機械が市販されるようになってきたからです。

小型機械と言っても価格はそれなりに高く、何でもかんでも導入するわけにはいきません。そこで、多田社長は「必要なモノに絞って効率よく機械化を進めれば、投資額が少なくても生産性が上がる」と考え、そのための準備として、経営革新計画への挑戦を決意しました。

もう一つは従業員の安全性の確保

多田社長には、苦しい出ががあります。従来から使用していた旧式のバイシター(パイ生地を伸ばす機械)を使っていたスタツフが、作業中にケガを負ったことがありました。当時は安全装置もなかったのですが、それが普通という意識も少なからずあったそうです。ただ「さまざまな業界が安全に気を配っている中で、従来型のやり方にこだわっていたら、次世代を担う人材が集まらなくなり、取り残される」と多田社長は危機感を覚えたといえます。

経営革新計画への挑戦するについても、従業員の安全性の確保は十分に担保しなければならぬ課題であるとしています。

自動包装機を差別化の武器に

新事業開始に伴い、同社は、安全装置が付いた最新式の「ミキサー」と「バイシター」を導入する予定です。それによって得られる効果は、安全性の改善だけではなく、生産性や品質安定性の点でも大きく改善されます。

かつ、不良品の発生や品質のばらつきも防止できます。

さらに、導入によって生じた時間を有効に使うことで、就業時間を増やすことなく新製品の企画ができ、スタツフが少ない工程のヘルプに時間的な余裕ができた従業員を回すことができそうです。つまり、新製品の開発が加速できるうえに残業時間の発生を抑制することもできるわけです。

これに加え同社は、焼菓子の個包装用の自動包装機も導入することを決めました。ただ、「個包装」の自動化は、小規模菓子メーカーが手を付けてきていない工程でした。かけるコストほどの効果が得られないと思われるたからです。中堅企業でさえ未だに手作業で行っているところが多いとされています。自動包装機の価格は高く、小さなケーキ店にはハードルが高いとも思われていました。

同社が調べたところ、購入予定の自動包装機を使用した場合、手作業に比べ速度は最低でも6倍以上だったそうです。

非対面販売機能の拡充は

「やるべきではなく
やらないと負ける」

新事業のもう一つの柱といえるのが「非対面販売機能の拡充」です。これには、「ウェブサイトの改良によるネット販売の増加」と「直営店営業時間外の販売方式の導入」という2つのアプローチが必要になります。もはや「やるべき」ではなく「やらないと負ける」状況(多田社長)。「今、買い物カー卜機能が付いたホームページを制作中。

ちなみに昨年末のクリスマスにケーキをHPで注文していた方々は450人ほど。新しいECサイトが完成すれば利便性がさらに高まる(同)と見えています。それでも、生菓子やデコレーションケーキは、営業時間を短縮していることもあって、取りに来れないという理由で購入を諦めるお客様が出ています。

そこで、導入を考えているのが「冷蔵機能付きロッカーBOX」です。最近コンビニや駅、スーパーなどに置かれるようになった宅配ボックスに、冷蔵機能を持たせQRコードで一度限りの鍵が発行できるようにしたものです。時間外でも商品を受け取れるだけでなく、他人との接触も避けることができます。

ウェブでの注文はウェブで決済し、店頭で受ける場合は店頭で決済します。ケーキの引き渡しは慎重になる部分が多いため、そのまま渡せる透明なケースに入れておくことで、受取時に商品の状況を確認できるのも大きなメリットです。

同社が提出した経営革新計画は令和2年7月に承認されました。



▲ケーキファクトリー「ホイップ」の外観
住所: 〒206-0804
東京都稲城市百村1464-12
TEL: 042-379-1154
URL: <http://whip.co.jp>